

ガス給湯器

取扱説明書

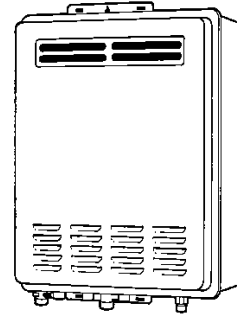
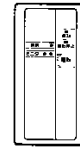
33-330型

型式名 PBS-50D

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社 ☎550	大阪市西区千代崎3-2-95	☎大 阪 06(586)3200
南部支社 ☎590	堺市住吉橋町2-2-18	☎堺 0722(38)1131
北部支社 ☎569	高槻市藤6里町39-6	☎高 槻0726(71)0361
東部支社 ☎578	東大阪市稲葉2-3-17	☎河 内0729(62)1131
兵庫支社 ☎650	神戸市中央区粟川南町1-8-2	☎神 戸078(360)3100
京都支社 ☎600	京都市下京区中堂寺栗田町1	☎京 都075(311)7381
奈良支社 ☎631	奈良市学園北2-4-1	☎奈 良0742(44)1111
和歌山支社 ☎640	和歌山市本町1-5	☎和歌山0734(31)2481
兵庫西支社 ☎670	姫路市神屋町4-8	☎姫 路0792(85)2221
豊岡支社 ☎668	豊岡市三坂町6-57	☎豊 岡0795(23)2221
滋賀支社 ☎525	草津市追分町荒堀680-1	☎草 津0775(62)5311
滋賀東支社 ☎522	彦根市大東町12-11	☎彦 根0749(22)3131
(長浜営業センター) ☎526	長浜市南呉服町3-4	☎長 浜0749(62)7171
本社ガスビル サービスセンター ☎541	大阪市中央区平野町4-1-2	☎大 阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社



このたびは、大阪ガスのガス給湯器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みいただき、正しくお使いのうえ、別添の保証書とともに、大切に保管してください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

もくじ

特長・機能の紹介	1
各部の名まえと扱い	2
必ずお守りください	3
使用方法	4
点検・お手入れ	8
故障かな?と思ったら	9
寸法図	12
仕様	13
保管とアフターサービス	14

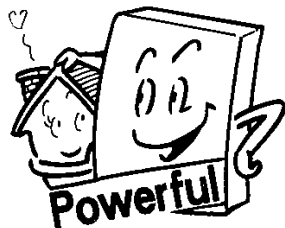
おねがい

ガスくさいときは、ガス元栓を開め、窓を全開してから（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。

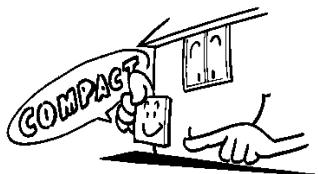
特長・機能の紹介

はじめまして。
この器具は次のような特長をそろえました。
ぜひ、快適な「お湯のある暮らし」にお役立てください。

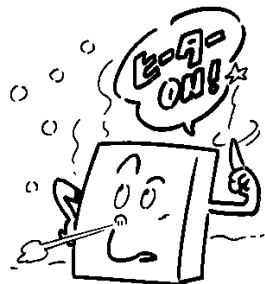
出力50,000kcal/hの
ゆったり設計



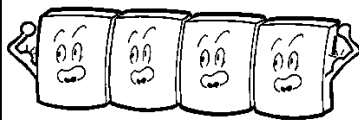
コンパクトタイプ



凍結防止装置付
(P.7 参照)



複数台設置することにより、
大量給湯が可能



各部の名まえと扱いかた

器具本体

排気口

排気ガスを出します

燃焼ランプ

出湯時に緑色に点灯します

給気口

燃焼用空気を吸い込みます

給湯接続口 (湯出口)

水抜き栓兼安全弁

ここから器具内の水を抜きます

電源プラグ

AC-100V (60Hz用)

バックカバー

フロントカバー

モニターランプ

異常時に点灯・消灯・点滅し、具体的な故障箇所を示します (11ページ参照)

ガス接続口 (ガス入口)

水抜き栓

ここから器具内の水を抜きます

給水接続口 (水入口)

メインリモコン

(別売品: 38-730型)

燃焼ランプ

出湯時に緑色に点灯します

モニターランプ

異常時に点灯・消灯・点滅し、具体的な故障箇所を示します (11ページ参照)

運転ランプ

運転 (入/切) スイッチ
「入」で点灯します

運転停止ランプ

運転 (入/切) スイッチ
「切」で点灯します

運転 (入/切) スイッチ

運転の「入」「切」を行います

特長・機能の紹介

各部の名まえと扱いかた

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください

● 使用ガスについてのご注意

- ・ガスの種類を確かめてください。
本体右側面下にはってある銘板に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。

メーカー型式
ガスの種類およびグループ
ガス消費量
供給圧力
使用電源
消費電力
製造年月日および製造番号
製造業者名

● 都市ガス用13A

- ・ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- ・転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

● 使用電源についてのご注意

- ・電源の電圧と周波数をお確かめください。
この器具はAC-100V (60Hz用) です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているか お確かめください。

● 用途についてのご注意

- ・給湯以外の用途には使用しないでください。

● 器具設置についてのご注意

- ・器具の設置・工事は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

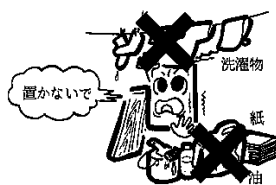
● 使用上のご注意

ガス濡れ予防

- ・使用中にガスのおいや、不快なおいがかたきとき確かめてください。

火災予防

- ・器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、洗濯物、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないでください。
- ・特に排気口は洗濯物などでおおわないでください。不完全燃焼や異常過熱の原因になります。

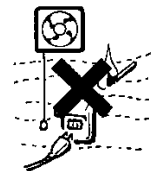


ガス事故防止

- ・ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元栓を閉め、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
(絶対に使用しないでください。)



- ・万一ガスが漏れたときは絶対に火をついたり、換気扇その他電気器具のスイッチの入、切や電源プラグの抜き差しはしないでください。



やけどのご注意

- ・使用中および使用後しばらくは、器具本体の排気口とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に、小さなお子様がいる家庭はご注意ください。
- ・シャワーなど 使用後すぐに再度お使いになるときは一瞬熱いお湯が出る場合がありますので、ご注意ください。



異常時の処置

- ・ご使用中にふだんと違った状態になったときや、地震、火災の場合、すぐ使用をやめて、電源プラグを抜き、ガス元栓を閉めてください。
- ・9～11ページの「故障かな?と思ったら」にしたがって処置を行ってください。



雷雨時のご注意

- ・近くで雷の音が聞こえてきたときは、落雷時の電子部品の破損を防ぐため、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
(電源コードが埋込まれている場合は、元のブレーカーで切ってください。)
- ・雷が過ぎたことを確かめてから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

凍結についてのご注意

- ・冬期には 器具内の水が凍って器具が破損することがあります。
凍結のおそれのある期間は7ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。

凍結したとき

- ・器具や配管が破損しますと 高額の修理費がかかります。(有料)
凍結したままでは絶対に使用しないでください。再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯栓から水が出ることを確認し、器具および配管から水漏れがないことを確認後、5ページ「使用方法」の項以下の操作を行ってください。

日常の点検・お手入れ

- ・日常の点検、お手入れを行ってください。(詳しくは 8ページをご覧ください。)
- ・故障または破損したと思われるときは 使用しないでください。
- ・この時、ご自分で修理なさらずお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

飲用にお使いのとき

- ・器具内に長時間たまった水は、飲用または調理用に用いないでください。

必ずお守りください

使用方法

使用方法

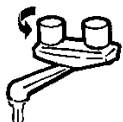
準備と確認

1 給水元栓を全開にします



器具の下部

2 給湯栓から水の出ることを確認します



お湯の使用場所

3 ガス元栓を全開にします



器具の下部

4 電源プラグをコンセントに差し込みます



器具付近

(橙)
運転停止
メインリモコンの運転停止ランプ点灯

1



(緑)
運転

運転(入/切)スイッチを押します

●運転停止ランプ(橙)は消灯し運転ランプ(緑)が点灯します。

2



開(点火) (緑)
運転
燃焼 (緑)

給湯栓を開けると、点火してお湯が出ます

●このとき、リモコンと器具本体の燃焼ランプ(緑)が点灯します。

3



混合水栓でお好みの湯温に調節します

●湯(約60℃)と水を混ぜて調節します。

ロシャワーを使うときは、必ず手で湯温を確かめてください。

4



開(消火)
燃焼
運転 (緑)

給湯栓を閉めると、消火します

●このとき、リモコンと器具本体の燃焼ランプ(緑)が消灯します。

5



運転停止 (橙)

運転(入/切)スイッチを押します

●運転ランプ(緑)は消灯し、運転停止ランプ(橙)が点灯します。

○ 使用時の注意

点火給湯

- 使いはじめは給湯配管内の冷水を追い出すまで、ご希望のお湯は得られませんが、まもなく安定した湯温になります。
- 給湯栓を十分に回さないで点火しなかったり、途中で火が消えることがあります。
- 給湯栓を開けて、30秒たってもお湯が出ないときは不着火です。いったん、給湯栓を閉め、あらためて給湯栓を開けてください。

湯温調節

- 火傷対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
- 給湯栓を全開にして使用すると高温にならないことがあります。給湯栓を高温のお湯になるまでしばらくお待ちください。
- 給湯栓をしぼりすぎると(流量約150ℓ/hr以下)、メインバーナーの炎が消火しますのでご注意ください。
- 給湯器1台を2カ所以上のカランで同時にお湯を使用されると、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。
- 断続してお使いになると湯温が一時的に変化することがあります。再度ご使用になるときは手で湯温を確認してからお使いください。
- この器具の出湯温度は約60℃ですが、約60℃~80℃に変更することもできます。詳しくは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。
- 約80℃にして混合水栓を使用すれば、器具の能力いっぱいで使用できます。

消火

- 給湯停止後、しばらくファンが回転します。これは再使用時に早くお湯を出すため約5分後に停止します。

停電時

- 器具の運転は停止しますが水はそのまま出ますので給湯栓は閉めてください。再通电するとリモコンの運転ランプ(緑)は消灯しています。再度、左ページの1から操作しておいてください。

断水時

- 器具の運転は停止しますが、再通水すると自動的に点火します。再通水するまで給湯栓を閉めておいてください。

ガスの供給が止まったとき

- 器具の運転が停止します。ガスの供給が再開されるまで、給湯栓を閉めておいてください。

使用方法・凍結予防方法

●冬期には給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起こることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をおとりください。

1 凍結予防ヒーターによる自動保温

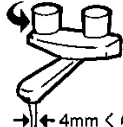


凍結予防のため、電源プラグは抜かないでください

- この器具は、外気温が下がってくると自動的に凍結予防ヒーターが作動し器具内を保温します。
- この装置は、電源プラグを抜くと作動しなくなりますのでご注意ください。
- *配管・バルブ類の凍結予防はできませんので、配管は水入口・湯出口まで保温材で覆うなどして凍結予防してください。

2 通水による方法

●この場合、器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。



→ ← 4mm くらい

1. ガス元栓は開けておきます。
2. 給湯栓を開け、少量の水（1分間に約200c.c.程度）を流したままにしておきます。
3. 流量が不安定になることがありますので、約30分後に再度流量を確認してください。

*寒い日には多めに水を流してください。
*電源プラグは抜かないでください。

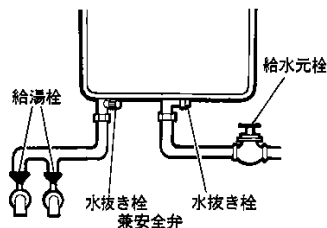
お願い

- 凍結がとけ、通水した後、水漏れのないことを確認してからご使用ください。（凍結により器具が破損した場合の修理は有料となります。）
- 凍結したまま使用しないでください。（凍結したまま使用されますと、器具に異常が生じることがあります。）

3 器具内の水を抜く方法

長期不在・異常寒波の場合は次の手順で器具内の水を抜いてください。

- ガス元栓は開けておきます。
- 1. 給水元栓を閉め、電源プラグをコンセントより抜きます。
〔寒冷地域などで不凍検使用時は不凍栓を閉め、給水元栓を全開にします。〕
- 2. 全ての給湯栓を全開にします。
- 3. 水抜き栓兼安全弁と水抜き栓をはずします。水が抜けます。
- 再度使用するまでこのままにしておきます。



水抜き後の使用方法

1. 水抜き栓兼安全弁と水抜き栓を閉めます。
 2. 給水元栓を開け、給湯栓より水が出ることを確かめてからいったん水を止めます。（通水確認）
- 以上の操作が終わったらガス元栓を開け、電源プラグをコンセントに差し込んで、「使用方法」にしたがってご使用ください。

点検・お手入れ

○点検・お手入れの際のご注意

- 器具を安全・快適にお使いいただくために日常の点検・お手入れを必ず行ってください。
- 点検・お手入れの際は、ガス元栓を閉め、電源プラグを抜いて器具が冷えてから行ってください。
- フロントカバーなどは、はずさないでください。
- リモコンは絶対に分解しないでください。故障の原因になります。

○点検

- 器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。
- 器具の外観に異常は見られませんか。
- 運転中に異常音は聞こえますか。
- 器具と配管からの水漏れはありませんか。
- ガス臭くありませんか。

○お手入れ

- 器具外装の掃除
器具の表面が汚れたときは、水気をしぼった布に中性洗剤を含ませ、汚れを落とした後、洗剤分と水気を十分ふき取ってください。

*強力洗剤、シンナー、ベンジン、みがき粉などは使用しないでください。表面がキズつきます。

- リモコンの掃除
リモコンには電子部品が入っていますのでぬらさないように乾いた布か水気をかたく絞った布で軽く拭いてください。

*ベンジン・強力洗剤は使用しないでください。変形する場合があります。

点検・お手入れ後の確認

- 点検・お手入れの後は、給湯栓を開け、器具が正常に作動しているか確認してください。
- 万一、異常な燃焼、異常音、異臭などが感じられたときは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

使用方法（凍結予防）

点検・お手入れ

故障かな?と思ったら

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのまま使いにならず、ただちに使用を中止され、十分な点検をしてください。

現象	点火しない(燃焼ランプが点灯しない)	使用中に消火した	高温の湯気が出ない	低温のお湯が出ない	異常な音を立てて燃える	処置方法	お寄せ先	販売店または大阪ガス支社
電源プラグがはずれている	○					プラグをコンセントに差し込む	*	
ガス元栓の開き不十分	○	○	○		○	ガス元栓を全開にする	*	
給水元栓の開き不十分	○	○		○		給水元栓を全開にする	*	
配管内に空気が残っている	○					点火操作を繰り返す	*	
断水している	○	○				使用をいったん中止する	*	
凍結している	○					解凍するまで使用を中止する	*	
停電している	○	○				再通電するまで待つ	*	
給気口・バーナー炎口・熱交換器・ノズルの目づまり	○				○	点検を依頼する		*
安全装置が作動	○	○				点検を依頼する (度々作動する場合)		*
湯温調節が適切でない			○	○		5ページをご覧ください	*	
給湯栓の開き不十分		○		○		給湯栓をもっと開く	*	

このほかに異常があるときやおわかりにならないときは、ご自身で修理なさらないで、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

故障かな?と思ったら

○ 次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理由
水抜き栓兼安全弁からときどき水滴が落ちる	器具内に高い圧力が生じた場合、安全弁の動きによりときどき水滴が落ちることがありますが、水漏れではありません。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることによって細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い無害です。
排気口から白い煙が出る	外気温が低いときに、排気ガス中の水蒸気が白く見えますが故障ではありません。
蛇口を開いてもすぐお湯が出てこない	器具から蛇口までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間が分かかります。

○ 安全装置の種類とその働き

- **立消え安全装置**
バーナーが正常に燃焼しないとき、安全装置が働いて、自動的にガスをストップします。
- **空だき防止装置**
器具内に水がない場合、安全装置が働いて、自動的にガスをストップします。
- **過圧防止安全装置**
器具の使用停止直後に熱交換器の余熱により熱交換器内の圧力が高くなった場合、水がボタボタ出ることがありますが故障ではありません。
- **風量確認装置**
ファンの回転数が異常になったとき、安全装置が働いて、自動的にガスをストップします。
- **過熱防止装置**
器具内の温度が異常に高くなったときはこの安全装置が働いて自動的にガスをストップします。
- **風圧スイッチ**
燃焼室の圧力が異常になったとき、風圧スイッチが働いて、自動的にガスをストップします。
- **凍結防止装置**
7ページの「凍結予防方法」の項をご覧ください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら

寸法図

○モニター表示にご注意ください

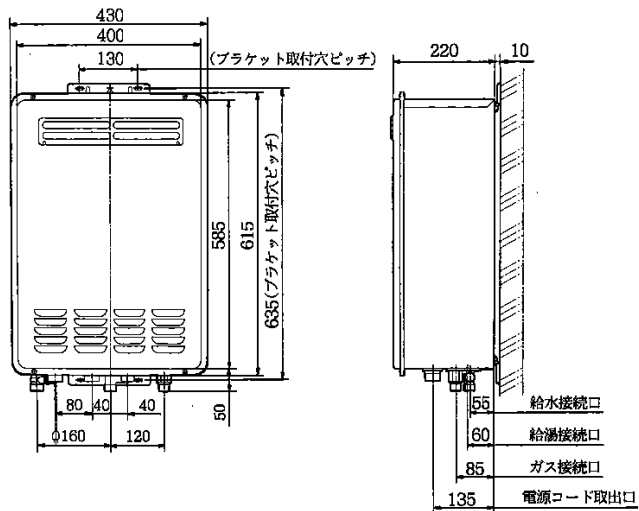
● 器具に不具合が生じ、運転が停止した場合は燃焼ランプが消灯し、モニターランプが点灯・消灯・点滅し、具体的な故障箇所を示します。モニターランプの点灯・消灯・点滅状態をお確かめのうえ、点検・修理を依頼してください。

モニター表示		内容	処置方法
左(赤)	右(緑)		
消灯	点灯	不着火 左側バーナー途中失火 (立消え安全装置の作動)	● いったん給湯栓を閉め、再度開けてください。 □ それでも点火しないときは器具の診断が必要です。
消灯	点滅	ファンモーターの不具合	* 器具の診断が必要です。
点灯	消灯	電磁弁回路の不具合 右側バーナー途中失火 (立消え安全装置の作動)	
点滅	消灯	初期燃焼異常 電磁弁 (SV2) の不具合	
点灯	点灯	空だき防止装置の作動	● 給湯栓を閉め、電源プラグを抜いて、器具が冷えるのを待ってから (約3分)、出湯操作してください。 □ それでも点火しないときは器具の診断が必要です。
		過熱防止装置の作動	
点滅	点灯	元電磁弁の不具合	* 器具の診断が必要です。
点灯	点滅	電磁弁 (SV1) の不具合	
点滅	点滅	ガス種コネクタの不具合	
消灯	点滅	風圧スイッチ異常 *	

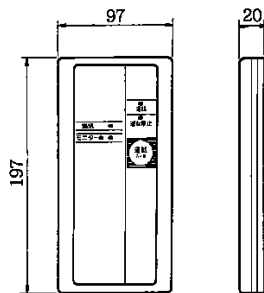
* 風圧スイッチ異常の場合は、燃焼ランプ (緑) も点滅します。

● 器具の診断は給湯栓・ガス元栓を閉め、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

33-330型



メインリモコン (別売品: 38-730型)



単位: mm

故障かな?と思ったら

寸法図

仕様

コード		33-330型	
種類	設置方式	屋外壁掛型	
	給湯方式	先止め式	
点火方式		連続放電点火式	
水圧	使用水圧	0.8~10.0kg/cm ²	
	最低作動水圧	0.1kg/cm ²	
最低作動流量		150ℓ/hr (2.5ℓ/min)	
外形寸法		高さ615×幅430×奥行220mm	
重量(本体)		29kg	
接続	給水	20A (R ₃ /4)	
	給湯	20A (R ₃ /4)	
	ガス	20A (R ₃ /4)	
電気関係	使用電源	AC-100V (60Hz)	
	消費電力	70W	
給湯	温度制御	比例制御	
	出湯温度	60℃ (60℃~80℃調節可)	
安全装置		立消え安全装置・過熱防止装置・風量確認装置・空だき防止装置・過圧防止安全装置・凍結防止装置・風圧スイッチ	
別売品		メインリモコン (38-730型)	

使用ガス	最大ガス消費量	出湯量(最大) ℓ/min		
		25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇
都市ガス13A (kcal/h)	63,000	(33)	(21)	15.3

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

保管とアフターサービス

○長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

- (1) ガス元栓を閉める
- (2) 給水元栓を閉める
- (3) 電源プラグを抜く
- (4) 器具の水抜きを行なう(水抜き方法は7ページを参照してください)

○アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

●まず「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けのときは次のことをお知らせください。

1. ご住所・お名前・電話番号・道順(付近の目印等)
2. 品名…33-330型
(右のようなラベルが器具の左面下部に貼り付けてあります。)
3. 現象…できるだけ詳しく
(モニター表示をお知らせください。)
4. 訪問ご希望日

(N) 33-330

大阪ガス株式会社

転居される場合

●ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類や電気の周波数によっては調整できない場合もあります。

保証について

- このガス給湯器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、ガス給湯器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間内でも修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後7年です。その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。

仕様

アフターサービス